



アクセシビリティ ガイドブック



マイクロソフト ウィンドウズ 7 対応版
アクセシビリティ機能のご紹介

アクセシビリティとは

アクセシビリティとは、“アクセスできる”ための機能や活動を意味します。マイクロソフトでは、障害(しょうがい)がある方やシニアの方も含めてあらゆる方が、パソコンにアクセスし、パソコンをより快適に、便利に使っていただくために、

- 自社製品のアクセシビリティ機能の拡充
- ICT 活用促進に向けた活動
- パートナーシップを通じた環境整備

を行っています。

このアクセシビリティ ガイドブックでは、Windows® 7 のアクセシビリティ機能をご紹介します。より快適なパソコン活用のために、ぜひご利用ください。

目次

より使いやすく、親しみやすく	2
コンピューターの簡単操作センターの概要	4
お使いのコンピューターを使いやすくするための推奨案を提案	8
目的に応じてパソコンを使いやすくする設定を探索	10
コンピューターを画面なしで使用します	10
ナレーター	11
“まったく見えない方”でもパソコンは使えます	12
コンピューターを見やすくします	13
ハイ コントラスト	14
拡大鏡	16
テキストとアイコンのサイズを変更します	19
ウィンドウの境界の色と透明度を調整します	19
ディスプレイ効果を詳細に設定します	20
マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します	21
スクリーン キーボード	22
音声認識	24
マウスを使いやすくします	26
マウス設定	27
キーボードを使いやすくします	28
マウス キー	29
固定キー	31
切り替えキー	33
フィルター キー	33
サウンドの代わりにテキストまたは画像を使用します	36
コンピューターでの作業に集中しやすくします	37
Windows 7 の便利な機能	38
Windows 7 のキーボード ショートカット集	40

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

このマークは、該当する機能が Windows のどのバージョンから利用できるかを示しています。この例では、該当する機能が Windows Vista®、Windows 7 のみに搭載されていることを示しています。

より使いやすく、親しみやすく

Windows XPから Windows Vista、そして Windows 7 へ

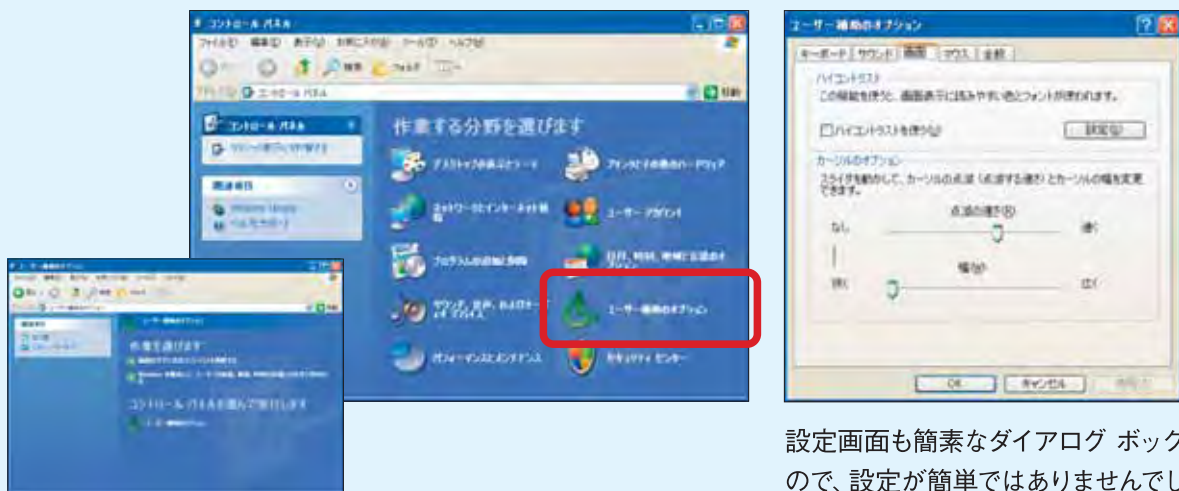
Windows のバージョンアップごとにアクセシビリティ機能もバージョンアップしています。

Windows Vista ではアクセシビリティ機能が一箇所に集約され、

さらに最新の Windows 7 では、拡大鏡やスクリーン キーボードに改良が加えられています。

Windows XP のアクセシビリティ機能

「コントロール パネル」や「アクセサリ」にバラバラに機能が存在していて、それぞれの場所で設定を行う必要がありました。そのために機能の存在をあらかじめ知っていないと利用することが難しいものでした。

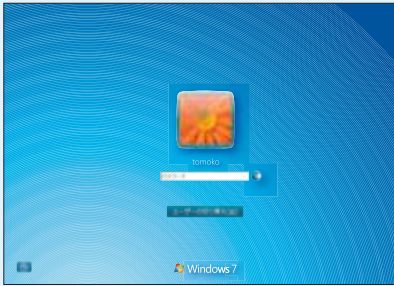


設定画面も簡素なダイアログ ボックスだったので、設定が簡単ではありませんでした。

Windows Vista からのアクセシビリティ機能

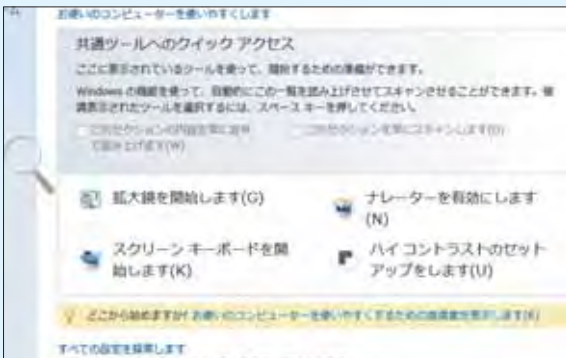
Windows Vista と Windows 7 では「コントロール パネル」にある「コンピューターの簡単操作」にアクセシビリティ機能が集約されています。「コンピューターを見やすくします」「マウスを使いやすくします」「キーボードを使いやすくします」といった目的別に機能が集められているので、不便だと感じたことや困っていることに応じて、パソコンをより使いやすくセッティングすることができます。





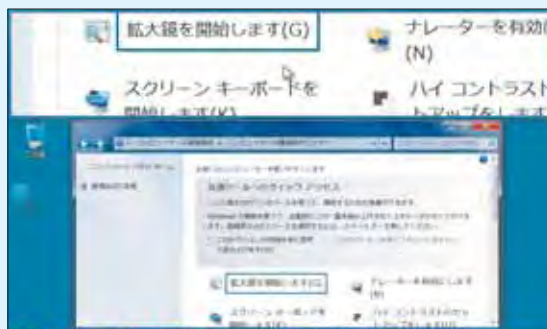
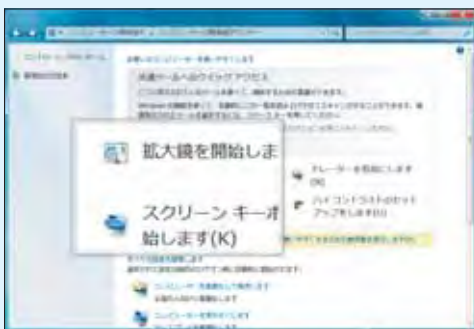
ログイン画面でもいくつかのアクセシビリティ機能が設定できるので、パスワードの入力などにアクセシビリティ機能が利用できるようになりました。

Windows 7 での主なバージョンアップ



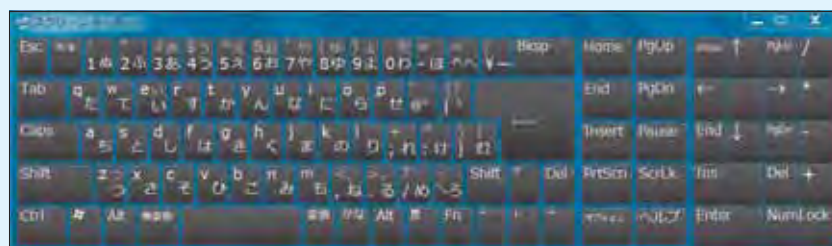
拡大鏡

拡大鏡は、「全画面表示」「レンズ」「固定」の3つの表示方法を選択できるようになりました。また、[Windows キー] を押しながら [+] キーを押すショートカットで、拡大鏡を起動できるようにもなりました。



スクリーン キーボード

スクリーン キーボードではキーボードの大きさを自由に変えられるようになりました。Windows 7 で搭載されたタッチ機能にも対応しているので、ハードウェアが対応していれば、直接指で画面上のキーに触れることでも入力ができます。



コンピューターの簡単操作センターの概要

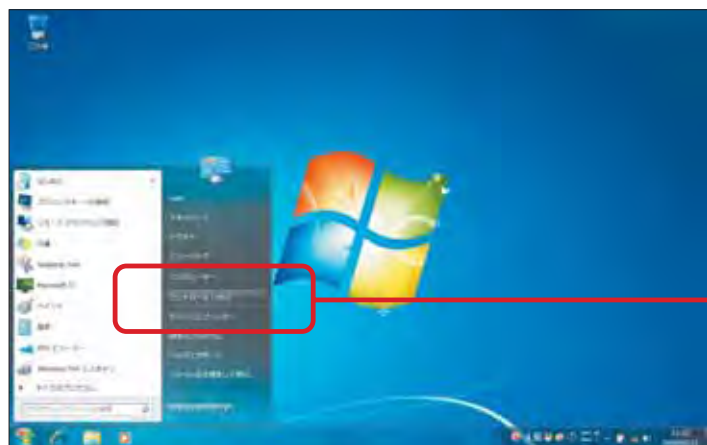
Windows 7 では、Windows Vista で採用された

「コンピューターの簡単操作センター」が搭載されています。

Windows XP までは「ユーザー補助のオプション」にあった「固定キー」などの設定、「ユーティリティ マネージャー」や「アクセサリ」などから起動した「拡大鏡」や「スクリーン キーボード」、さらには「コントロール パネル」から行っていたマウスなどの詳細な設定まで、パソコンをより使いやすくするためのあらゆる設定が行えるようになっていきます。

まず、「コンピューターの簡単操作センター」へのアクセス方法とコンテンツを見てみましょう。

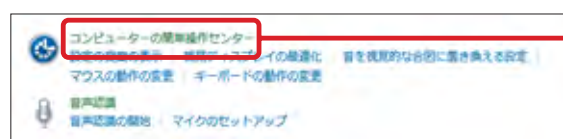
コンピューターの簡単操作センターへのアクセス



- 1 スタート メニューの
[コントロール パネル] をクリックします。



- 2 「コントロール パネル」が開いたら、
[コンピューターの簡単操作] を
クリックします。



- 3 「コンピューターの簡単操作」ウィンドウ
が開いたら
[コンピューターの簡単操作センター]
をクリックします。

「コンピューターの簡単操作センター」は
ショートカットでも起動します。

ショート
カット

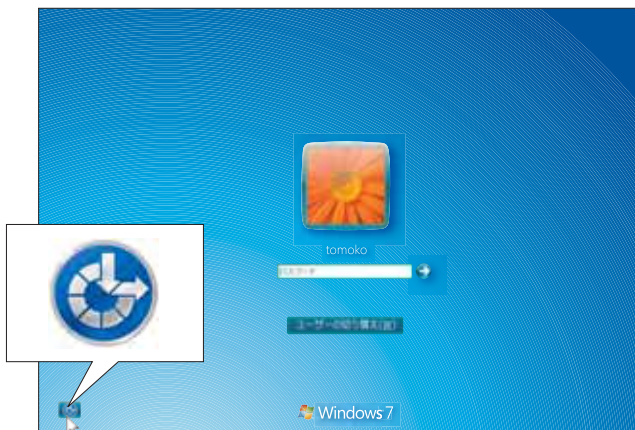


Windows ロゴ キーを押しながら「U」キーを押します。

※Windows XP では、
ユーティリティ マネージャーが起動します。

ログオン時にアクセシビリティ機能を利用する

- 1** ログオン画面の **「コンピューターの簡単操作」** アイコンをクリックします。



ログオン画面でも「コンピューターの簡単操作」はショートカットで起動します。

ショート
カット



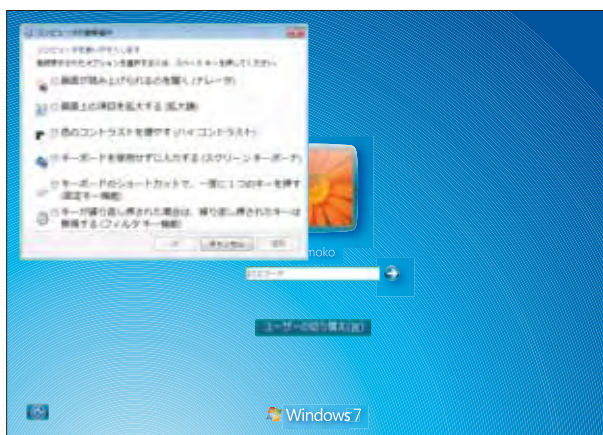
Windows ロゴ キーを押しながら
「U」キーを押します。

※Windows XP では、
ユーティリティ マネージャーが起動します。

MEMO

Tab キーを押して
「コンピューターの簡単操作」アイコンに
フォーカスをあて、
Enter キーで起動することもできます。

- 2** 「コンピューターの簡単操作」ウィンドウが現れます。
「ナレーター」「拡大鏡」「ハイ コントラスト」
「スクリーン キーボード」「固定キー」
「フィルター キー」の 6 つの機能を設定できるので、
これらの機能を使ってログオンすることができます。

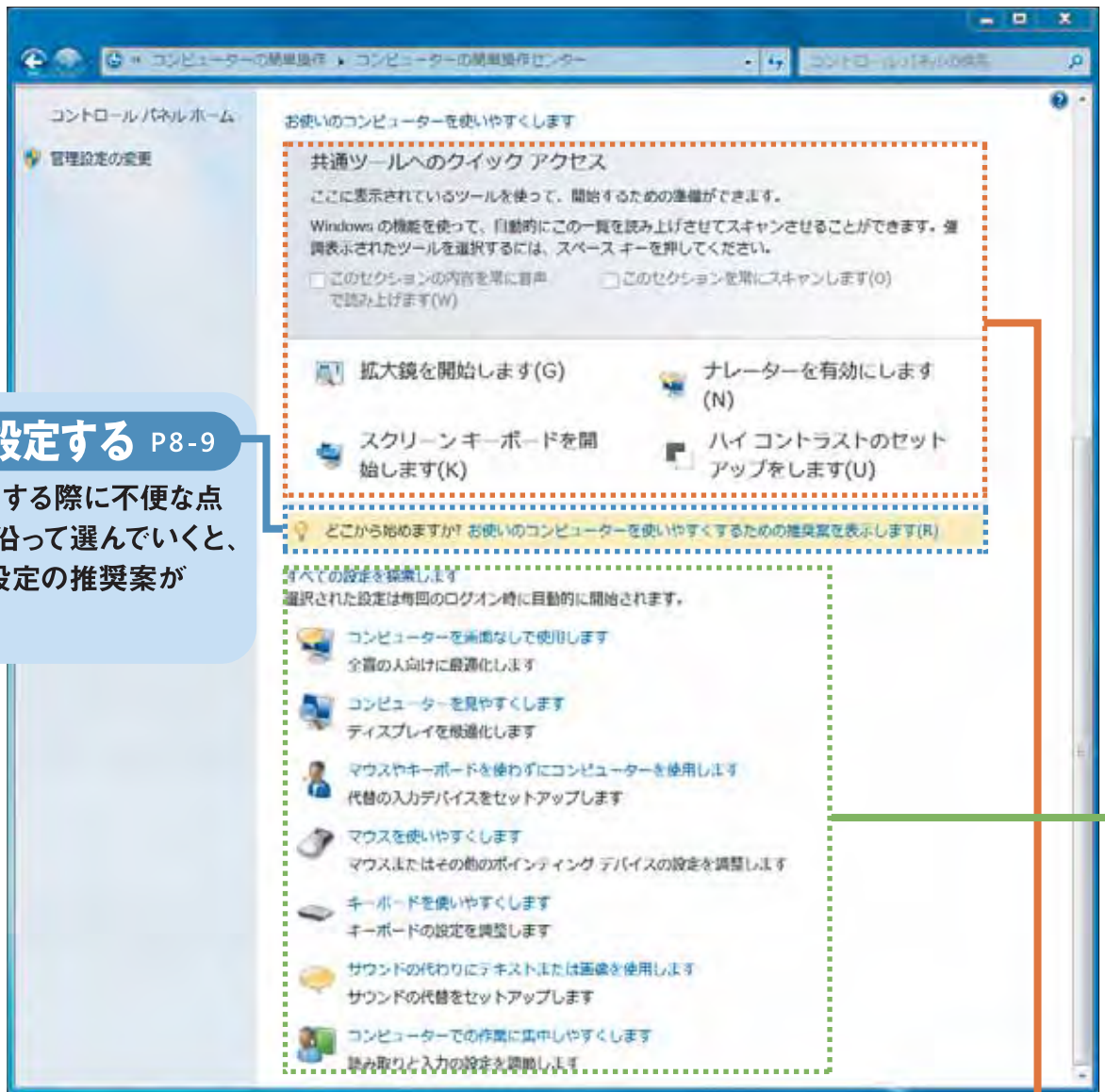


「コンピューターの簡単操作」では
順番に機能がフォーカスされます。
目的の機能がフォーカスされているときに
スペース キーを押すことで、その機能を設定できます。

MEMO

ログオン画面で設定した
「コンピューターの簡単操作」の設定は、
ログオンするときのみ有効です。
ログオンした後は、コントロール パネルの
「コンピューターの簡単操作センター」の
設定が有効になります。

コンピューターの簡単操作センターのコンテンツ



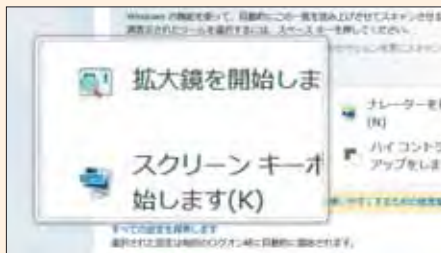
推奨案で設定する P8-9
 パソコンを利用する際に不便な点などをガイドに沿って選んでいくと、必要な機能や設定の推奨案が提示されます。

ツールへのクイック アクセス

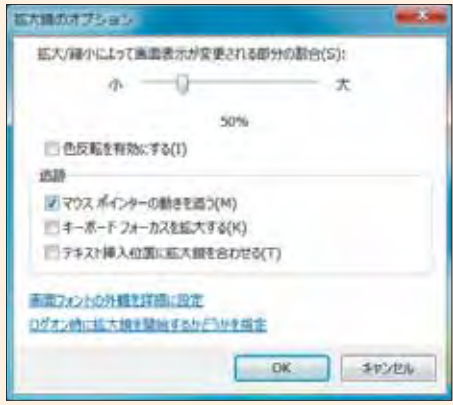
よく使われる 4 つの機能にすぐにアクセスできます。

拡大鏡 P16-18

虫眼鏡のように画面の一部を拡大して見ることができます。拡大した画面の色を反転させたり、拡大鏡のウィンドウの大きさや場所を自由に変更することができます。



拡大鏡で画面の一部を拡大



ナレーター P11

別途日本語エンジンを組み込むことで、画面のテキスト情報を読み上げます。

目的別に設定する

目的にあわせて、パソコンを設定することができます。



画面なしで使用します P10-11

パソコンを画面を使わずに使用する場合の設定を行います。



画面を見やすくします P13-20

画面の解像度を変更したり、文字やアイコンの大きさを
変更したり、詳細な設定を行うことができます。



画面を見やすいように設定する



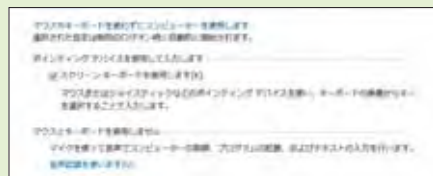
マウスやキーボードを使わずに

スクリーン キーボードや音声認識の P21-25
設定を行います。



マウスを設定します P26-27

マウス ポインターの大きさを変えるなど、
マウスの詳細な設定を行います。



マウス ポインターの色やサイズを設定



キーボードを使いやすくします P28-35

2 つ以上のキーを同時に押すことが難しい場合に有効な「固定キー機能」や速いキー入力や繰り返しの
入力を無視することで誤操作を減らせる「フィルター キー機能」などを設定することができます。



サウンドの代わりになる機能

サウンドの代わりに画面を点滅
させたりすることができます。 P36



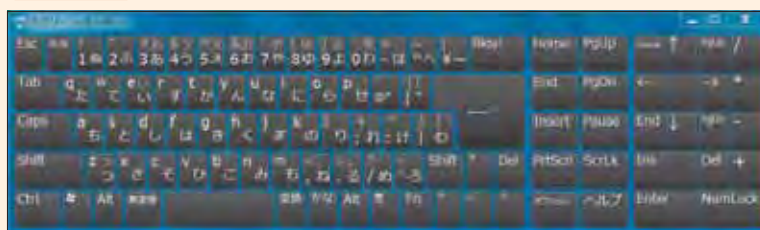
作業に集中しやすくします P37

読み取りや入力の設定を調節して作業に
集中できる環境をつくれます。



スクリーン キーボード P22-23

通常のキーボードの操作が難しい場合、
画面上のキーボードをマウスやスイッチなど
操作して文字を入力することなどが可能です。
直接キーをクリックして選択するほか、
自動的にスキャンさせて選択するなど、
入力モードも選択できます。



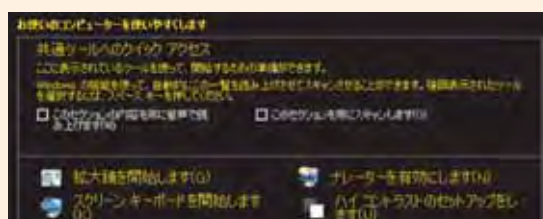
画面上のキーボードをマウスやスイッチで操作



ハイ コントラスト P14-15

通常の画面の配色では、まぶしいなどの理由で見にくい場合、
画面の見やすさを調整できます。

画面の配色を
見やすいものに設定



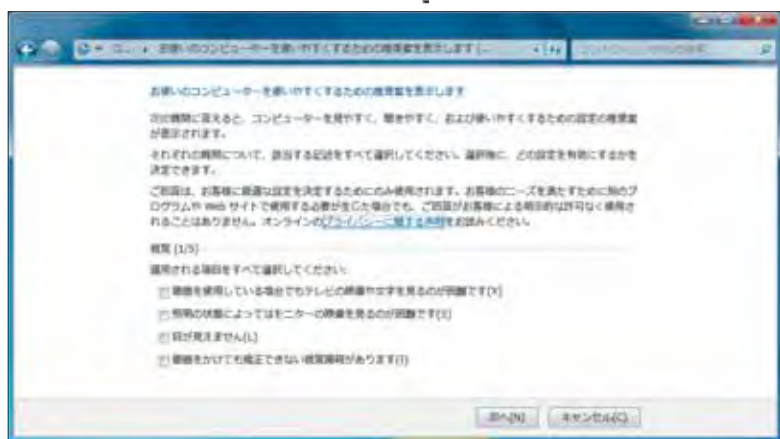
お使いのパソコンを使いやすくするための推奨案を提案

自分でどのような設定を行ったら良いかわからない場合は、
[お使いのコンピューターを使いやすくするための推奨案を表示します] を
クリックして、質問に答えていくことで、それぞれの方にあった
パソコンを使いやすくする設定をご提案します。

推奨案の設定



1 「コンピューターの簡単操作センター」の [お使いのコンピューターを使いやすくするための推奨案を表示します(R)] をクリック。



2 推奨案を提案するウィンドウが開きます。ここから視覚、四肢障害(しょうがい)、聴覚、発声、認識力に関する質問にお答えいただきます。

3 該当する項目のチェックボックスをクリックしてチェック。
次へ(N) をクリックしてください。

視覚 (1/5)
適用される項目をすべて選択してください:

- 眼鏡を使用している場合でもテレビの映像や文字を見るのが困難です(X)
- 解像度の状態によってはモニター映像を見るのが困難です(S)
- 目が見えません(L)
- 眼鏡をかけても矯正できない視覚障害があります(I)

視覚

四肢障害 (2/5)

- ペンや指が使いにくいです(P)
- 身体障のため、腕、手、または指を自由に動かすことができません(L)
- キーボードを使用しません(X)

四肢障害(しょうがい)

聴覚 (3/5)

- 会話を聞き取りにくいです(O)
- バックグラウンドノイズのために、コンピューターのサウンドを聞き取りにくいです(I)
- 難聴です(P)
- 耳が聞こえません(L)

聴覚

発声 (4/5)

- 自分が話している内容を他の人が聞き取りづらいです(方言などにはよらない)(P)
- 話すときに困難があります(S)

発声

認識力 (5/5)

- 集中できないことが多いです(I)
- 物事を思い出すのが困難なことがよくあります(O)
- 単語などの字認識が困難があります(L)

認識力

4 質問に答え終わったら **終了(O)** をクリック。推奨案が表示されます。

5

質問に対する回答から、パソコンを使う上で便利な機能や設定の推奨案が提案されます。

適用(P)

をクリックすると、推奨された設定が有効になります。



目的に応じてパソコンを 使いやすくする設定を探索

パソコンを使いやすくする設定を、目的別に分類しました。
目的別に設定方法を詳しくご紹介します。

コンピューターを画面なしで 使用します

ほとんど画面を見ることができない弱視または全盲の方向けに、
パソコンを最適化します。

The screenshot shows the Windows Ease of Access Center window for the setting 'Use your computer without a display'. The window title is 'コンピューターの簡単操作センター > コンピューターを画面なしで使用します'. The main content area includes the following settings:

- コンピューターを画面なしで使用します**
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。
- テキストが音声で読み上げられるのを聞きます**
 - ナレーターを有効にします(U) ← **P11 で詳しく説明します**
ナレーターを使うと、画面上の文字が音声で読み上げられます。これにはスピーカーが必要です。
 - オーディオの説明を有効にします(I) ← **ソフトウェアが対応している場合、映像で起こっていることを音声で説明します。**
映像で起こっていることを聞き取ります (利用可能な場合)。
 - テキストの音声変換をセットアップします(S) ← **音声の選択、速度の設定などができます。**
- 時間制限と明滅画像を調整します**
 - 必要のないアニメーションは無効にします (可能な場合)(W) ← **対応している場合、画面上のアニメーションを無効にします。**
 - Windows の通知ダイアログ ボックスの表示時間(X)
5.0 秒 ← **ダイアログボックスが表示している時間を 5 秒、7 秒、15 秒、30 秒、1 分、5 分と変更することができます。**
- 関連項目**
 - オーディオデバイスとサウンド テーマ(A) ← **再生や録音をするデバイスの設定、イベントに適用されるサウンドの設定が行えます。**
[支援技術についての詳細をオンラインで表示します。](#)



ナレーター

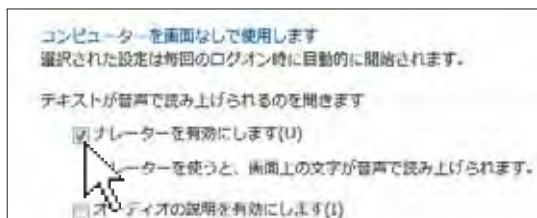
XP 対応

Vista 対応

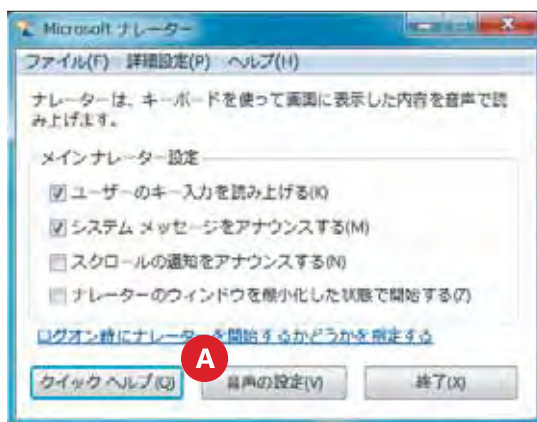
Win 7 対応

別途対応したスピーチエンジンを組み込むことで、入力した文字や Windows のコマンドなど画面上のテキスト情報を読み上げます。

ナレーターの設定



1 「テキストが読み上げられるのを聞きます」の [ナレーターを有効にする(U)] のチェック ボックスをチェックします。



2 [適用(P)] をクリックすると、お使いの Windows と同じ言語のエンジンが必要というメッセージが現れます。
[閉じる(C)] をクリックするとナレーターが起動し、設定の画面が現れます。

入力したキーやエラーのメッセージを読み上げるかなどの設定を行います。



A [音声の設定(V)] をクリックすると、音声 (対応しているエンジン) を選択したり、話す速度やボリュームなどを設定できます。

ご注意

Windows 7 は日本語のスピーチ エンジンを標準搭載していません。搭載しているスピーチ エンジン (Microsoft Anna) では日本語版の Windows の画面情報を読み上げることはできません。ナレーターを使用するには、あわせて対応しているエンジンをご利用いただく必要があります。

MEMO

ナレーターは「共通ツールへのクイック アクセス」からも起動できます。

“まったく見えない”方でもパソコンは使えます

視覚に障害（しょうがい）がありパソコンの画面がまったく見えない場合でも、画面のテキスト情報を読み上げるソフトウェア（スクリーンリーダー）を用いることで、パソコンを使うことができます。

Windows 7 の「ナレーター」は、別途対応している音声エンジンを組み込むことで画面のテキスト情報を読み上げます。また、市販のスクリーンリーダーを用いると、さらに高機能に、自分の入力した文字の情報や対応しているソフトウェアのコマンドなど画面のテキスト情報を読み上げるので、パソコンの画面がまったく見えない方でもワープロで文書を作成したり、メールのやりとりをしたり、ホームページを閲覧したりすることができるようになります。

ただ、操作に必要なすべての情報を音声で手に入れられるとは限らず、スクリーンリーダーによっても違いがあります。

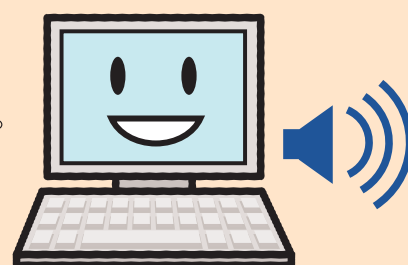
画面がまったく見えない方は、マウスを使うことができないので、パソコンの操作はすべてキーボードを使います。

キーボードには通常「F」と「J」に印が付いていますが、その他、よく使う「Enter」キーや「Windows ロゴ」キーに印をつけて使いやすくする方も多くいます。

パソコンで点字を使うこともできます。

専用の点字キーボードをパソコンに接続して利用したり、通常のキーボードを点字キーボードに見立てて点字を入力できるソフトウェアもあります。点字ディスプレイと呼ばれる機器を使うと、画面のテキスト情報を点字で知ることができます。画面の図の情報をピンの凹凸で表し、触ることで理解できる点図ディスプレイという機器もあります。また、点字を出力する点字プリンタもありますので、対応しているソフトウェアとあわせて、点字を紙に出力することもできます。

スクリーンリーダーは、「拡大すれば画面を見ることができても、時間がかかりとても疲れてしまう」という方や、「視覚に障害がなくても、眼から入る情報を理解するのが難しく、耳から入る情報を理解しやすい」という方に有効なこともあります。



コンピューターを見やすくします

障碍（しょうがい）や加齢にともなう視力低下によって、画面の文字やマウス ポインターなどが見えにくいことがあります。ここでは文字を大きくする、画面の配色を変更するなど、画面を見やすくするための設定を行います。

The screenshot shows the Windows Ease of Access Center window titled "コンピューターを見やすくします". The window contains several sections of settings with red arrows pointing to specific options and callout boxes providing further explanation.

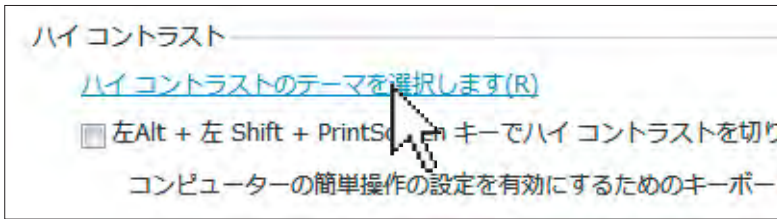
- ハイコントラスト**
 - ハイコントラストのテーマを選択します(R) ← P14 で詳しく説明します
 - Alt + Shift + PrintScreen キーでハイコントラストを切り替えます(L)
 - コンピューターの簡単操作の設定を有効にするためのキーボードのショートカットを使用する場合:
 - 設定を有効にするときに警告メッセージを表示します(A)
 - 設定を有効または無効にするときに音を鳴らします(M)
- テキストや説明が音声で読み上げられるのを聞きます**
 - ナレーターを有効にします(U) ← P11 で詳しく説明します
 - ナレーターを使うと、画面上的の文字が音声で読み上げられます。これにはスピー
 - オーディオの説明を有効にします(I) ← ソフトウェアが対応している場合、映像で起こっていることを音声で説明します。
 - 映像で起こっていることを聞き取ります (利用可能な場合)。
- 画面上的の項目を拡大します**
 - テキストとアイコンのサイズを変更します(Z) ← P19 で詳しく説明します
 - 拡大鏡を有効にします(N) ← P16 で詳しく説明します
 - 拡大鏡を使用すると、画面上的のどこでも拡大でき、その領域にあるすべての項目を拡大表示できます。拡大鏡は、動かしたり、1 が所に固定したり、大きさを変更したりできます。
- 画面上的の項目を見やすくします**
 - ウィンドウの境界の色と透明度を調整します(I) ← P19 で詳しく説明します
 - ディスプレイ効果を詳細に設定します(C) ← P20 で詳しく説明します
 - フォーカス用の四角を太くします(K) ← フォーカスが当たっているところを見やすくします。
 - 点滅カーソルの太さを設定します(B): 1 ← 点滅カーソルの太さを 20 段階で調節できます。
 - 必要のないアニメーションは無効にします (可能な場合)(W) ← 対応している場合、画面上的のアニメーションを無効にします。
 - 背景のイメージを削除します (利用可能な場合)(G) ← 対応している場合、背景のイメージを削除し、デスクトップをシンプルにします。
- 関連項目**
 - デザインおよびサウンド効果を個人用に設定します(R)
 - [表層技術についての詳細をオンラインで表示します。](#)

ハイ コントラスト

通常の配色では画面がまぶしいという場合など、「ハイ コントラスト」を設定すると見やすくなる場合があります。

XP 対応 Vista 対応 Win 7 対応

ハイ コントラストの設定

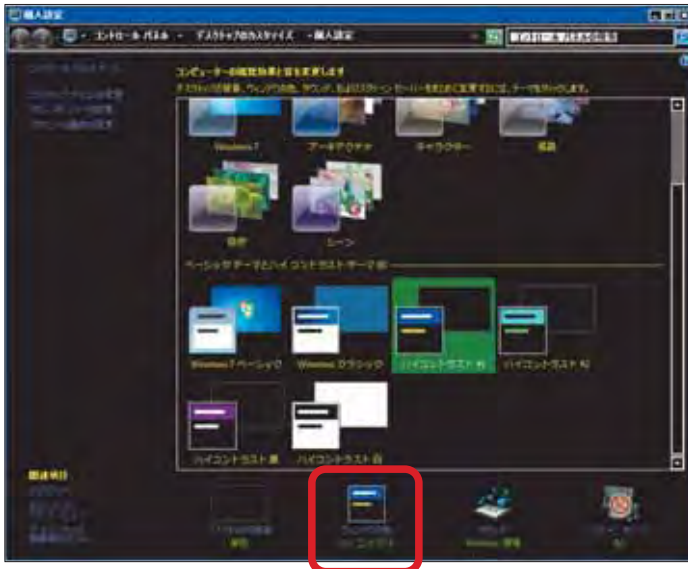


1 「ハイ コントラスト」の「ハイ コントラストのテーマを選択します(R)」をクリックします。

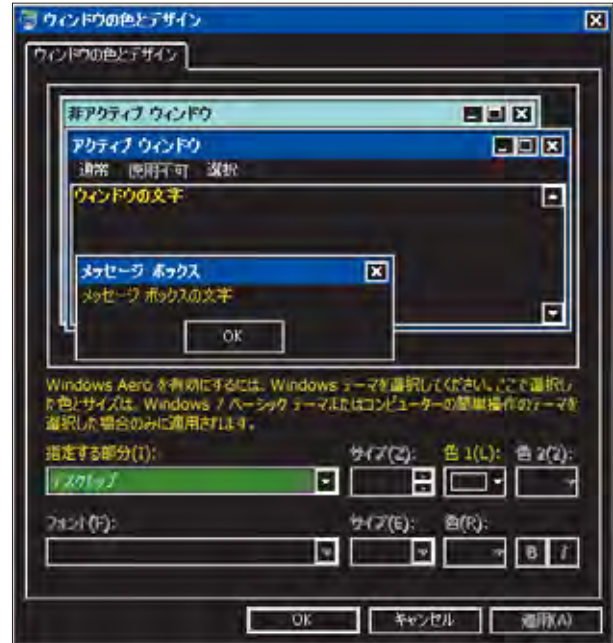


2 テーマのリストの下の方にある「ベーシックテーマとハイ コントラスト テーマ」の中から見やすいハイ コントラスト テーマを選択すると画面全体がハイ コントラストに設定されます。





3 さらに詳細な設定を行うには、
[ウィンドウの色] をクリック。
[ウィンドウの色とデザイン] でタイトル バーや
アイコン、ボタン等の色や文字の大きさ
デザイン等を設定することができます。



MEMO ハイ コントラストは「共通ツールへのクイック アクセス」からも設定できます。

MEMO デスクトップ テーマとして、「ハイコントラスト テーマ」や「ベーシック テーマ」以外が選ばれている場合は、「ウィンドウの色」をクリックすると、「ウィンドウの色とデザイン」の詳細設定の画面になります。

ハイ コントラスト画面はショートカットでも設定できます。

ショート
カット



Alt キーと Shift キー (左) と PrtScnを押します。



拡大鏡

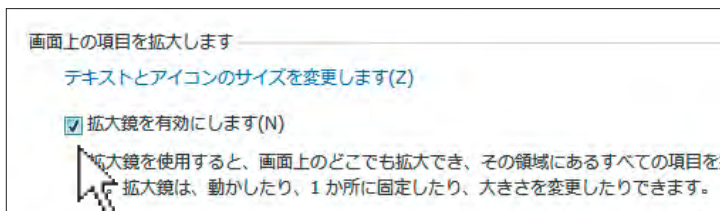
XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

拡大鏡を使用すると、画面を拡大して見ることができます。

拡大鏡のはじめ方



1 「画面上の項目を拡大します」の
[拡大鏡を有効にする(N)] の
チェック ボックスをチェック。

2 適用(P) をクリック。

3 拡大鏡が開始されます。

拡大鏡機能はショートカットでも利用できます。

ショート
カット



[Windows] ロゴ キーと [+] キー を押します。

② 画面上のコンテンツが [+] キーを押すたびに段階的に拡大されます。

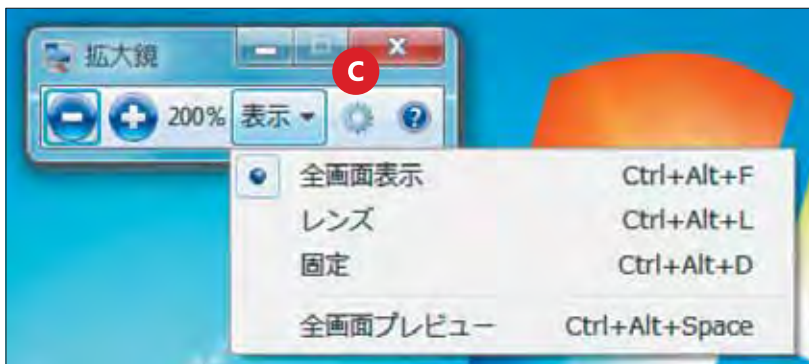
③ [-] キーを押すことで、画面表示が縮小されます。

拡大鏡の設定

より画面を見やすく調整するために拡大鏡も詳細の設定が行えます。



拡大鏡の**虫眼鏡アイコン**をクリックするか通知領域上の
アイコンをクリックすることで、拡大鏡の設定を行えます。



A 倍率
(+) (-) ボタンのクリックで、
100% から 1600% まで
16段階の倍率調整が可能です。

B 表示
拡大画面の表示方法を
「全画面表示」「レンズ」「固定」の
3種類から選べます。

C 拡大鏡のオプション
拡大鏡のオプションを
設定することができます
(詳しくは P18 を参照)。

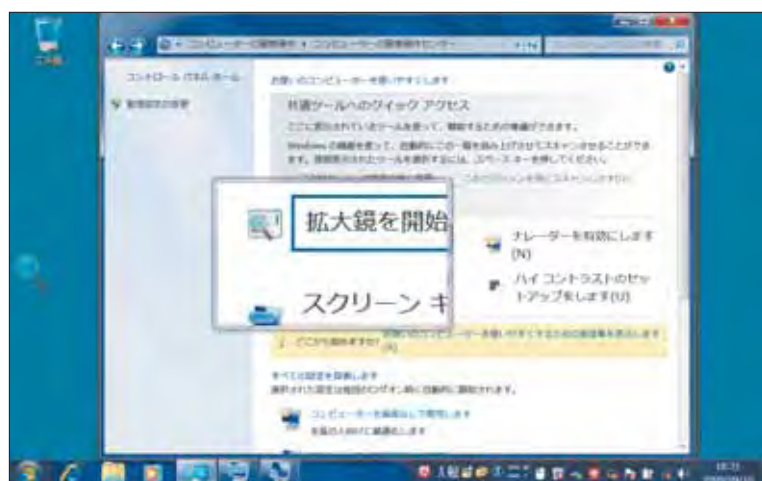
拡大鏡の表示

拡大鏡は見やすいように、お好みに合わせて表示方法を変えることができます。



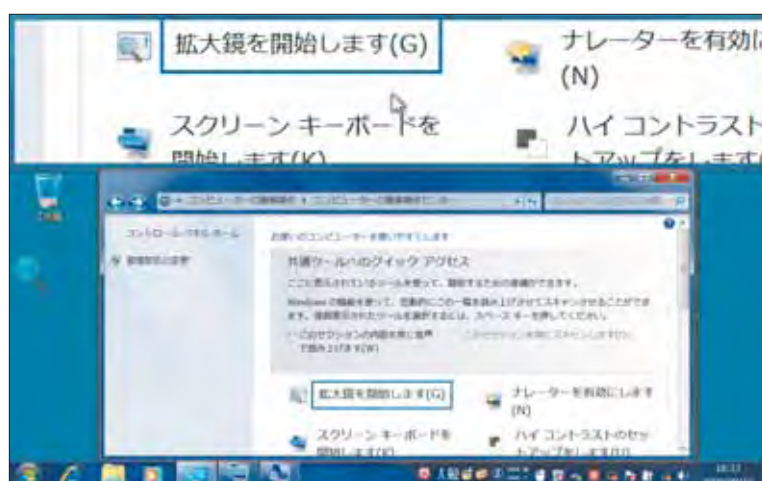
全画面表示

画面全体を拡大表示します。
マウス ポインターを動かすことで、画面上を移動することができます。
拡大された画面上で、マウスのクリックやキーボードでの入力などの操作も行うことができます。



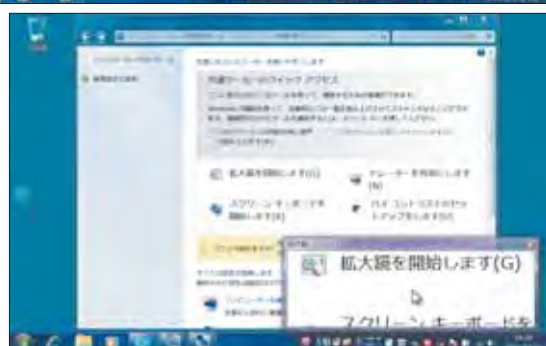
レンズ

虫眼鏡で画面を見ている感覚でマウス ポインターの周囲を拡大します。
マウス ポインターを動かすとレンズも一緒に移動します。



固定

固定したウィンドウに画面を拡大して表示することができます。
ウィンドウは、モニター上の好きな場所に好きな大きさと固定することができます。



拡大鏡のオプション

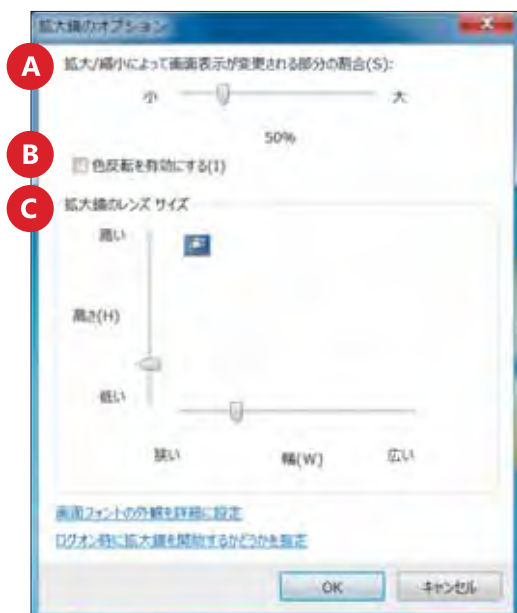
拡大鏡の詳細な設定を行うことができます。

「全画面表示」「固定」のオプション



- A 拡大/縮小の割合**
キーボード ショートカットや [+] [-] ボタンをクリックすることで、拡大/縮小される割合を設定します。
- B 色の反転**
拡大鏡の中だけ画面の色を反転させます。
- C 追跡**
拡大する対象を、マウス ポインターが指している場所や、編集集中のテキストの入力部分に変更することができます。

「レンズ」のオプション



- A 拡大/縮小の割合**
キーボード ショートカットや [+] [-] ボタンをクリックすることで、拡大/縮小される割合を設定します。
- B 色の反転**
拡大鏡の中だけ画面の色を反転させます。
- C レンズ サイズ**
拡大表示するレンズの大きさを設定できます。

MEMO

拡大鏡機能は「共通ツールへのクイック アクセス」からも起動できます。

テキストとアイコンのサイズを変更します

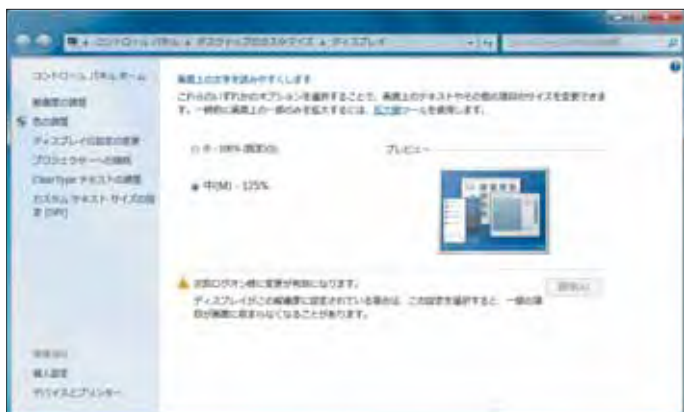
XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

画面上の項目を拡大します

[テキストとアイコンのサイズを変更します\(Z\)](#)



1 **[テキストとアイコンのサイズを変更します(Z)]** をクリック。

2 **「画面上の文字を読みやすくします」** ウィンドウの [小] または [中] をクリックすると画面上のテキストやアイコン等のサイズを全体的に変更できます。

MEMO コンピューターの解像度によって選択できるサイズが異なります。

MEMO Windows Vista では、変更を有効にするために再起動が必要でしたが、Windows 7 では、ログ オフすることで、テキストやアイコンのサイズが変更されます。

画面上の項目を見やすくします

ウィンドウの境界の色と透明度を調整します

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

画面上の項目を見やすくします

[ウィンドウの境界の色と透明度を調整します\(J\)](#)



1 **[ウィンドウの縁の色と透明度を調整する(J)]** をクリック。

2 **「ウィンドウの色とデザイン」** ウィンドウが表示されるのでお好みに合わせて色を変えたり、透明度を変えたりできます。

MEMO 「ベーシック テーマとハイコントラスト テーマ」が設定されている場合は、この設定は行えません。

ディスプレイ効果を詳細に設定します

XP 対応

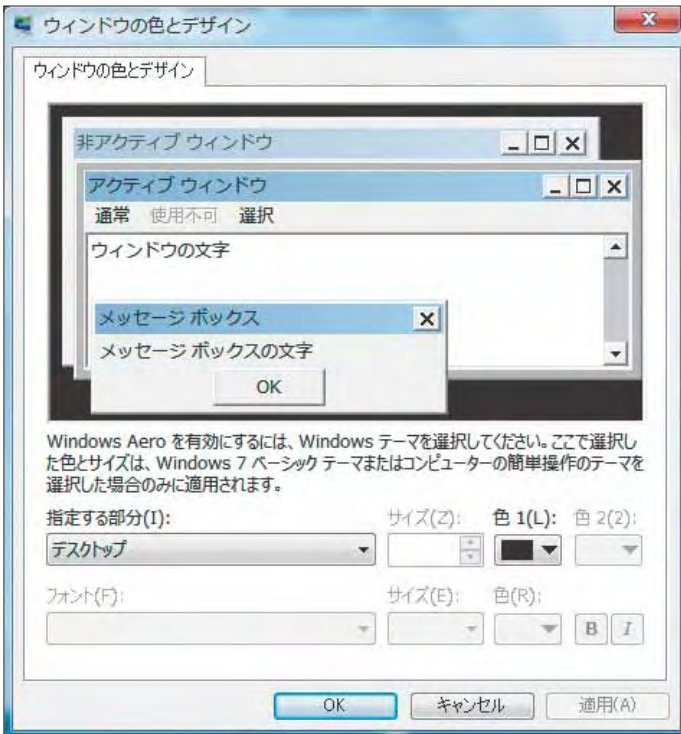
Vista 対応

Win 7 対応

[ディスプレイ効果を詳細に設定します\(C\)](#)

1 [ディスプレイ効果を詳細に設定します(C)] をクリック。

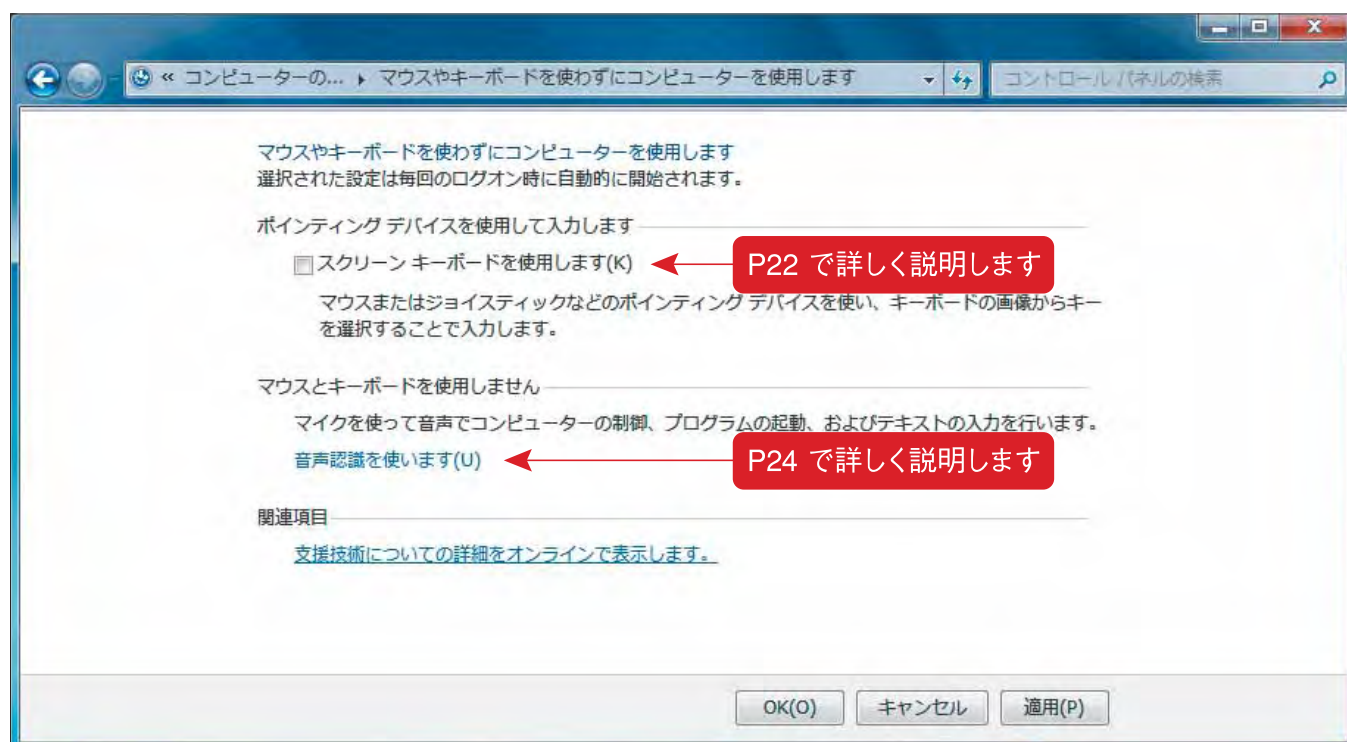
2 個人設定の下部の「ウィンドウの色」をクリックし、「ウィンドウの色とデザイン」画面で「デザインの詳細」をクリック。



アイコンの大きさ、タイトル バーの色など
詳細な設定が可能です。

マウスやキーボードを使わずに コンピューターを使用します

通常のマウスやキーボードに代わる入力デバイスを
セットアップして利用します。





スクリーン キーボード

標準的なキーボードを扱うことが難しい場合、スクリーン上のキーボードを使って文字を入力することができます。

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

スクリーン キーボードを使用する

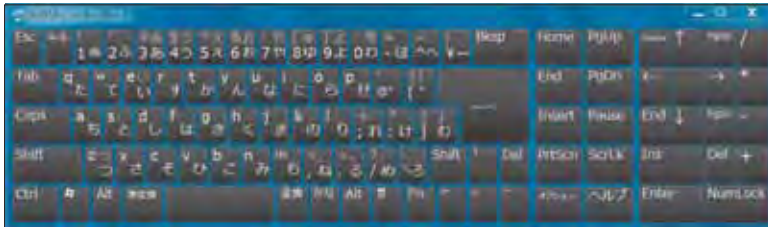
マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。

ポインティング デバイスを使用して入力します

スクリーン キーボードを使用します(K)

マウスまたはジョイスティックなどのポインティング デバイスを使い、
選択することで入力します。

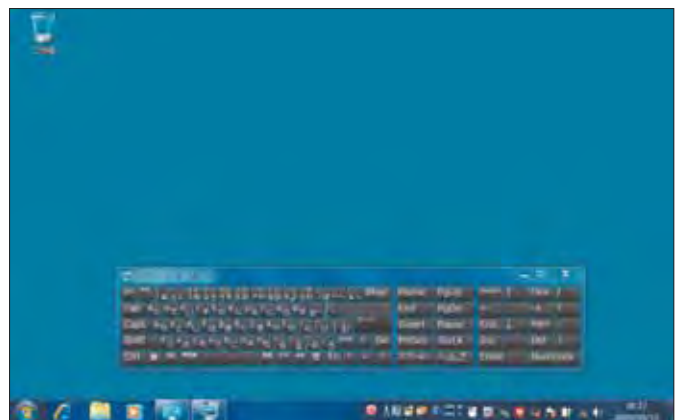
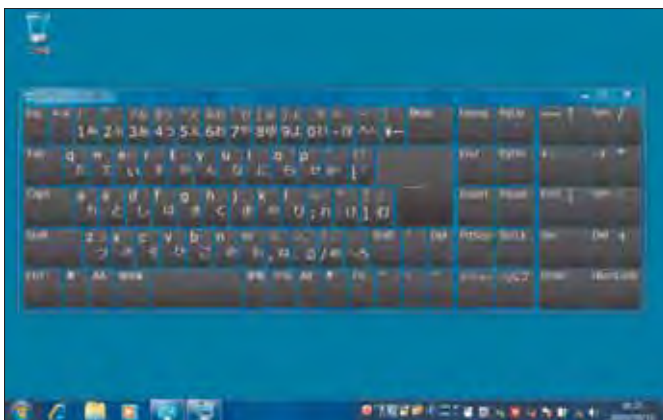
1 「マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します」の
「スクリーン キーボードを使用する(K)」
のチェック ボックスをチェックします。



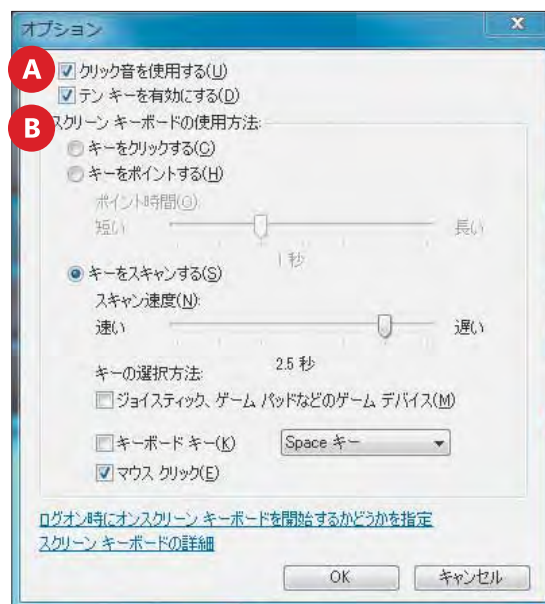
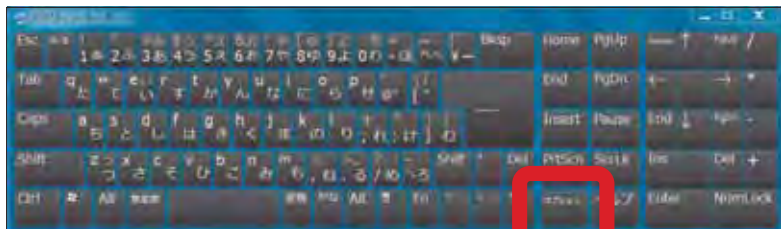
2 「適用(P)」 をクリックすると
スクリーン キーボードが起動します。

スクリーン キーボードの設定

キーボードのサイズを変更することができます。



オプションから使用方法などを設定する



A クリック音を使用する/テン キーを有効にする

用途に応じて使用環境を整えられます。

B 入力方法を選ぶ

● キーをクリックする

スクリーン キーボードのキーをクリックすると文字を入力できます。

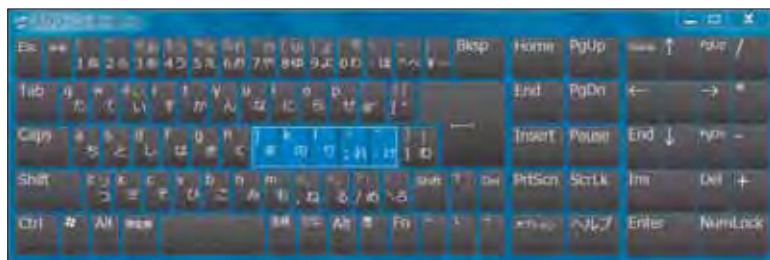
Windows 7 で搭載されたタッチ機能にも対応しているの、ハードウェアが対応していれば、直接指で画面上のキーに触れることでも入力ができます。

● キーをポイントする

スクリーン キーボードのキーの上に、設定した秒数の間ポインターを置いていると、クリックしなくても文字を入力できます。

● キーをスキャンする

キーボードが設定した時間ごとにスキャンされ、キーボードの文字の領域が強調表示されるので、ジョイスティックやキーボード、入力スイッチなどから 1 つの信号を送ることで入力したい文字を選び入力することができます。



MEMO

スクリーン キーボードは「共通ツールのクイック アクセス」からも起動できます。



音声認識

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

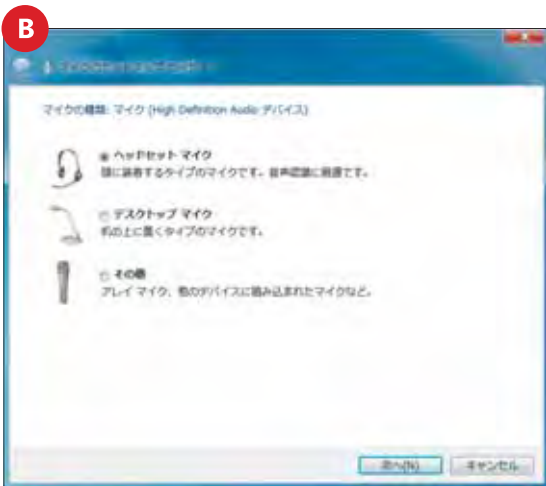
音声を使用して、プログラムを起動する、メニューを開くなどのコンピューターの操作や音声による文字入力を行うことができます。

音声認識の設定

音声認識を使います(U)

1 「マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します」の【音声認識を使います(U)】をクリック。

2 「音声認識」画面が表示されます。



- A 音声認識の開始**
音声でのコンピューターの制御を開始します。
- B マイクのセットアップ**
音声認識に使うマイク（別売）を選んでテストをします。
- C 音声認識チュートリアルの実施**
コンピューターで音声認識のコマンドなどを学習します。
- D ユーザーの音声をより正確に認識できるように、コンピューターに学習させる**
ユーザーの音声を認識する機能を向上させるために、コンピューターに学習させます。
- E 音声認識リファレンスカードを開く**
よく使用するコマンド一覧を表示、印刷できます。

音声認識のはじめ方

音声認識機能の構成



音声認識の開始(S)

自分の声を使って、コンピューターの操作を始めます。

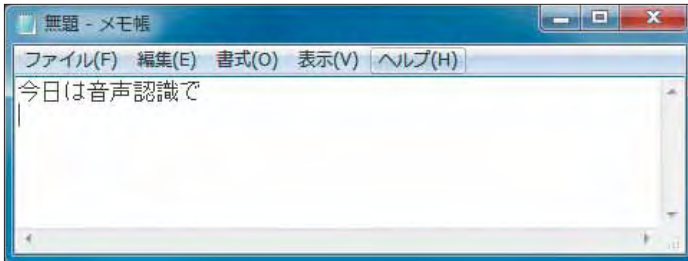


- 1 「音声認識」の「音声認識の開始(S)」をクリック。

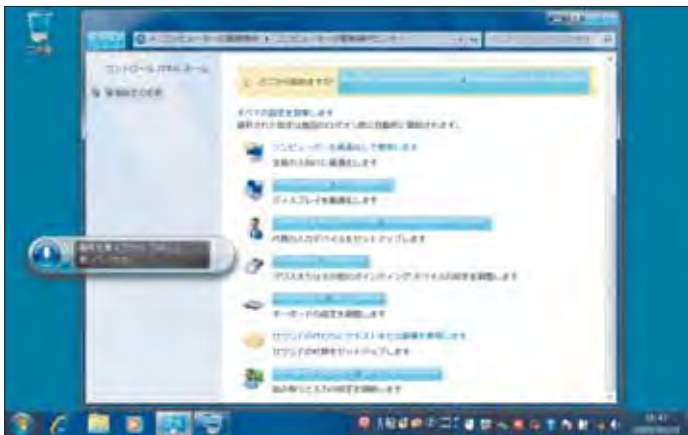
- 2 画面上にマイク ユーザー インターフェイスが現れます。「聞き取りを開始」と言うなどして音声認識を開始させます。

マイクに向かって入力したい文字やコマンドを言います。

メモ帳などに文字を入力することができます。



「番号を表示」と声で指示すると画面上に番号が表示されます。番号を選んで「OK」と言うことでその項目を実行できます。

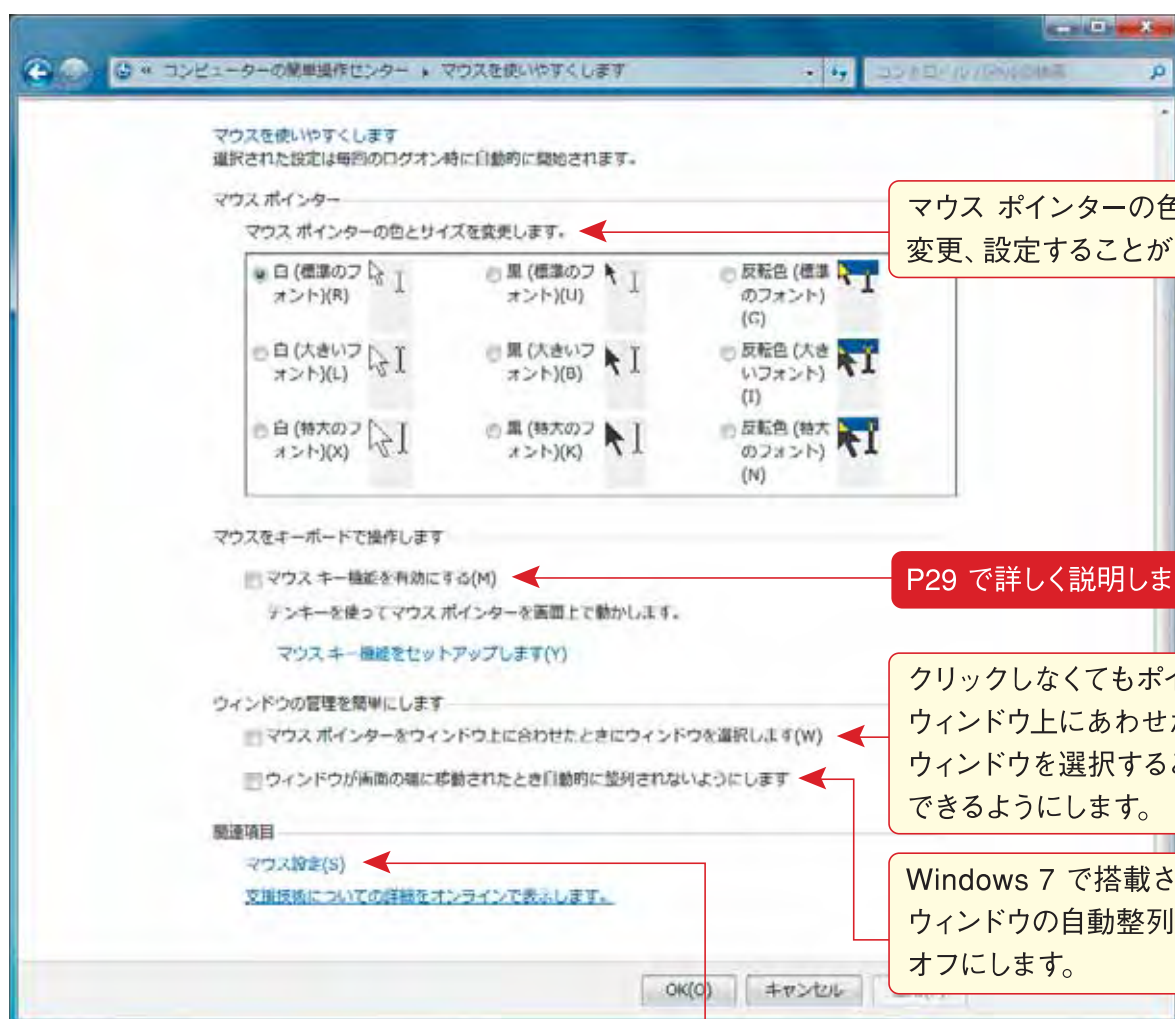


「マウス グリッド」と声で指示すると画面上にグリッドが現れます。目的の場所がある番号を言うと、さらに、その番号内にグリッドが表示されていき、デスクトップ上の目的の場所の操作を行うことができます。



マウスを使いやすくします

マウスの設定や、マウスを使いやすくするための設定を行います。



マウス設定

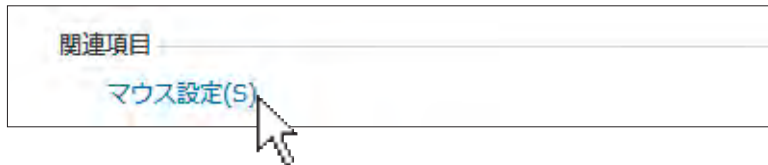
XP 対応

Vista 対応

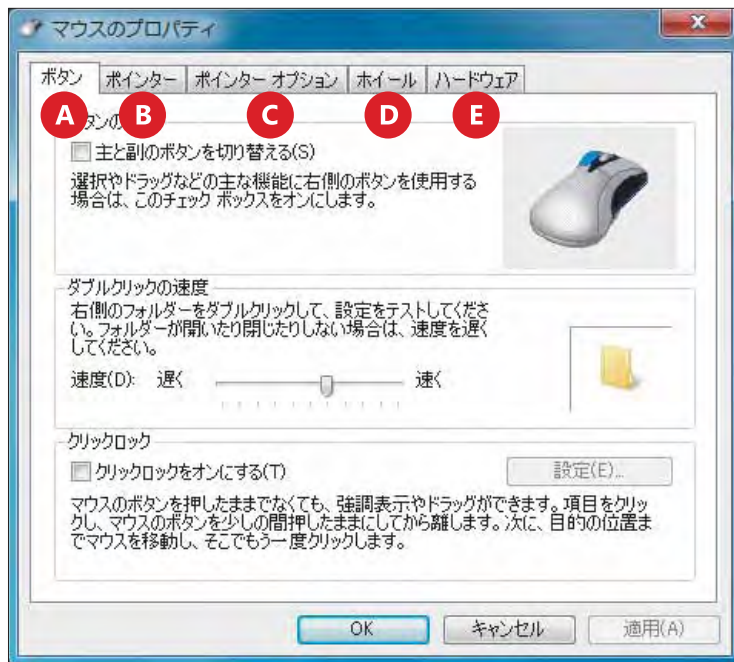
Win 7 対応

マウスの詳細な設定を変更、調整することができます。

マウス設定



1 「マウスを使いやすくします」の「関連項目」から **[マウス設定(O)]** をクリックします。



2 「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されさまざまなマウスの設定が行えます。

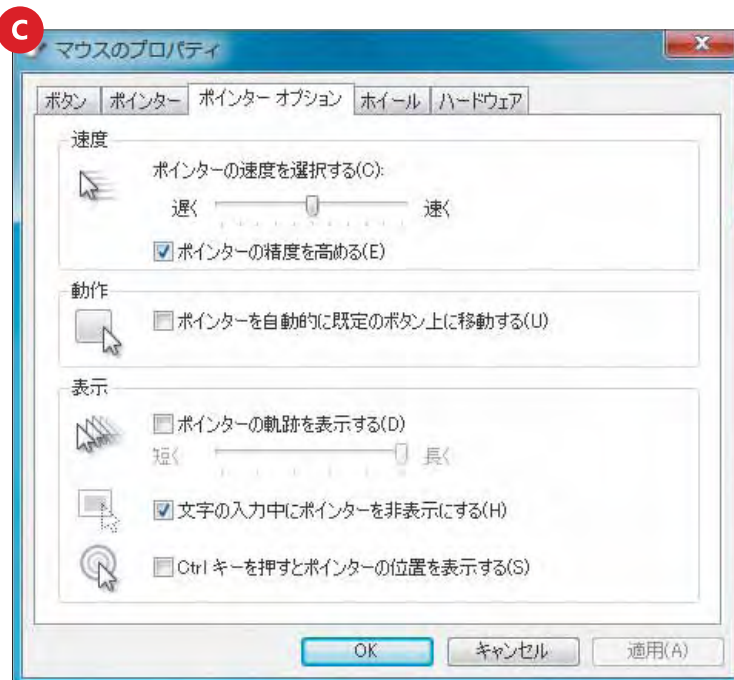
- A ボタン**
左右ボタンの切り替えやダブル クリックの速度を調整できます。
- B ポインター**
マウス ポインターの色や形の変更やカスタマイズができます。

C ポインター オプション
ポインターの速度や軌跡を調整することができます。

- ポインターの動く速さを調整
- ポインターの定位置を決定
- ポインターの描く軌跡を調整
- ポインターの現在位置を表示

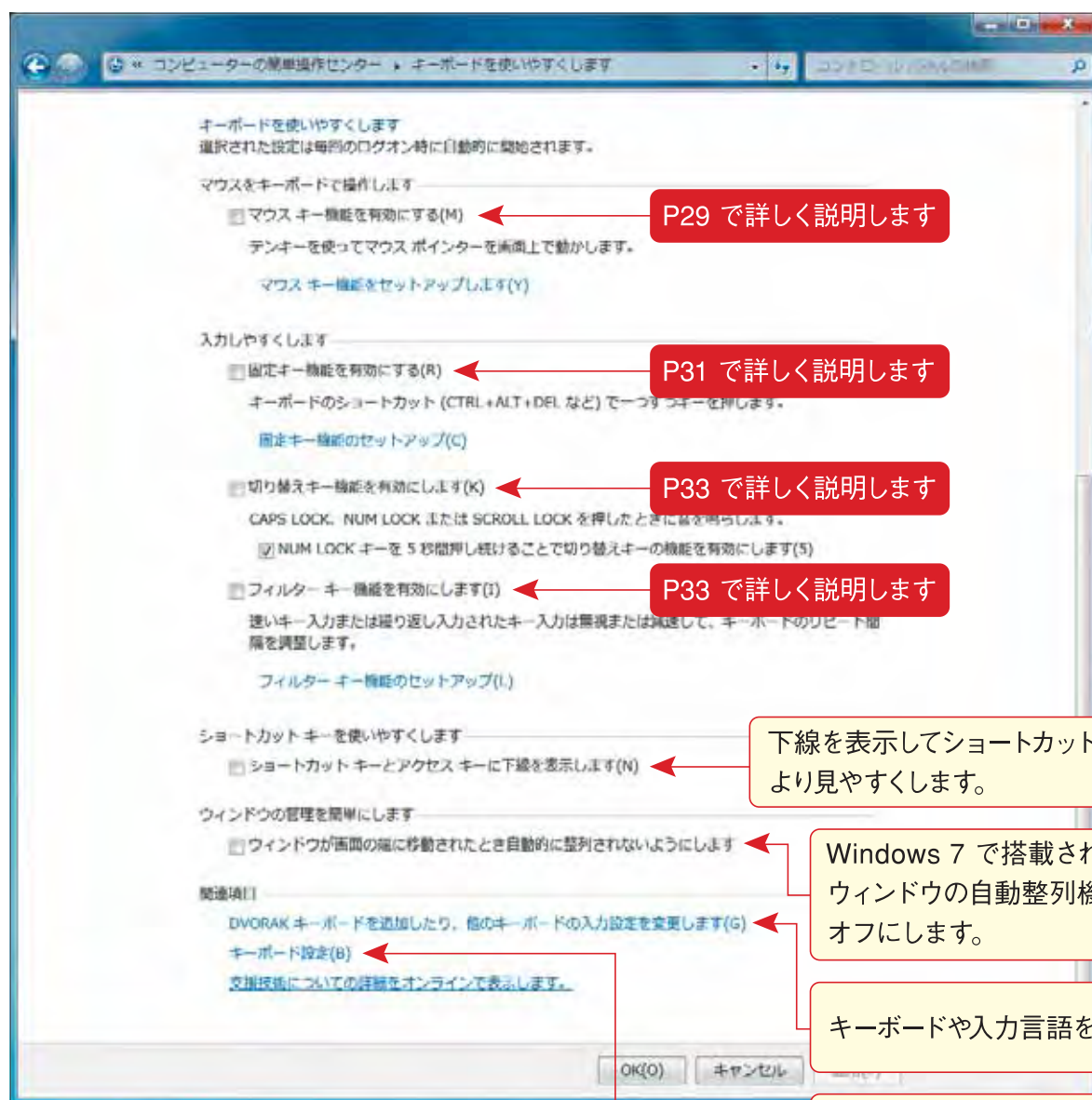
D ホイール
ホイール付きマウスのホイールの挙動を調整できます。

E ハードウェア
マウスの種類を選択することができます。



キーボードを使いやすくします

キーボードの設定や、入力しやすくするための設定を行います。



マウス キー

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

マヒが軽くキーボードは操作できても、不随意運動が大きいなどでマウスの操作が難しい場合は「マウス キー」機能が便利です。

マウス キー機能のはじめ方

マウスをキーボードで操作します

マウス キー機能を有効にする(M)

マウス キーを使ってマウス ポインターを画面上で動かします。

1 「マウスをキーボードで操作します」の
[マウス キー機能を有効にする(M)]
のチェックボックスをチェックします。

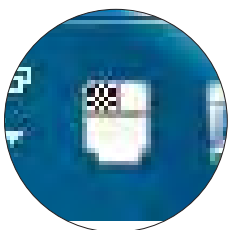
2 **適用(E)** をクリックすると
マウス キーが有効になります。

マウス キー機能の設定

[マウス キー機能をセットアップします\(Y\)](#)

1 「マウスをキーボードで操作する」の
[マウス キー機能をセットアップします(Y)]
をクリックします。

2 マウス キー機能のセットアップ画面が
表示され、速度などが設定できます。



A ここをチェックしておくと、
マウス キー機能が
有効化されていることが
通知領域に表示されます。

テンキーでマウス ポインターを操作する

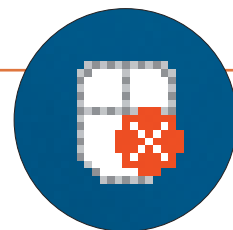


テンキーの 5 のキーを中心に、8 のキーを押すと上、2 のキーを押すと下にマウス ポインターを移動させることができます。斜めの移動やクリック、ダブル クリックもできます。

- | | | | |
|---|------------|---|----------|
| 5 | : クリック | . | : ドロップ |
| + | : ダブル クリック | - | : 右ボタン選択 |
| 0 | : ドラッグ開始 | / | : 左ボタン選択 |

MEMO

テンキーがないノートパソコンの場合、マウス キー機能を有効にしても、マウス キー機能が利用できず、バツ印がついたマウス キー機能の通知が表示されます。その場合、ノートパソコンの [Num Lock] などのキーを押すことで、ノートパソコンのキーをテンキーとして使用することができます。



マウス キーはショートカットでも設定できます。

ショート カット



Alt キー (左) と Shift キー (左) と NumLock キーを押します。

固定キー

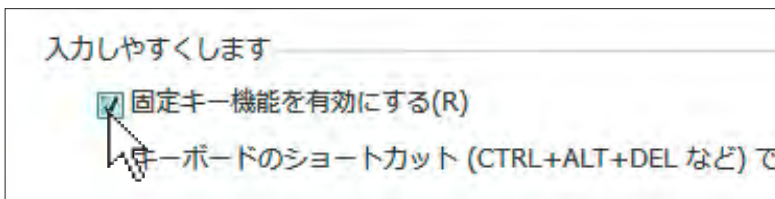
XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

ログオンするために Ctrl キー、Alt キー、Delete キーを同時に押すなど、Windows では、複数のキーを同時に押す操作が求められる時があります。しかし、2 つ以上のキーを同時に押すことができない場合は「固定キー」機能が役に立ちます。

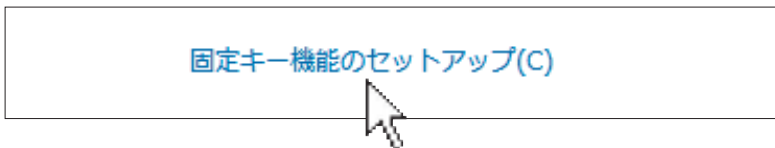
固定キー機能のはじめ方



1 「入力しやすくします」の
「固定キー機能を有効にする(R)」
のチェック ボックスをチェックします。

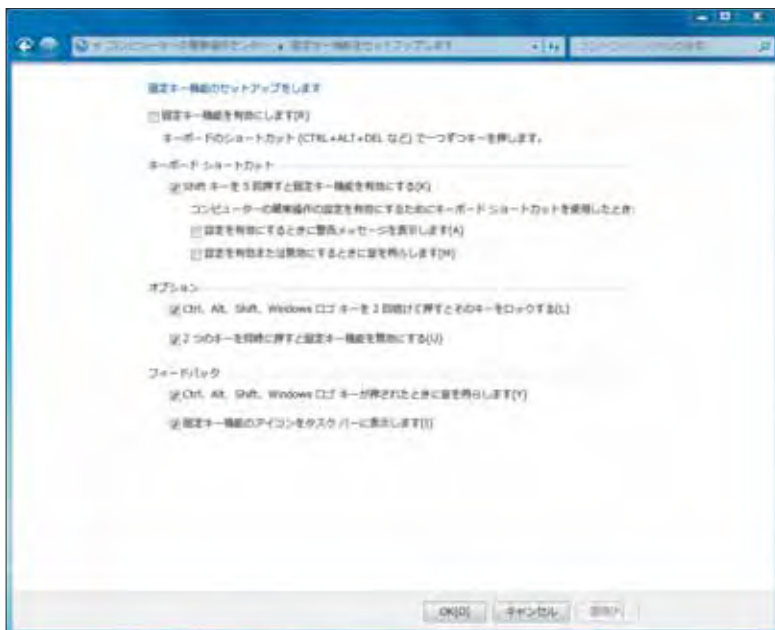
2 **適用(P)** をクリックすると
固定キーが有効になります。

固定キー機能の設定



1 「入力しやすくします」の
「固定キー機能のセットアップ(C)」
をクリックします。

2 固定キー機能のセットアップ画面が
表示されます。



固定キーはショートカットでも設定できます。



① Shift キーを 5 回続けて押します。

② 「固定キー機能」ウィンドウが表示され
「固定キー機能を有効にしますか?」と質問されます。

③ [はい] を選択すると、固定キー機能が有効になります。

■オプション

オプション

- C Ctrl、Alt、Shift、Windows ロゴ キーを 2 回続けて押すとそのキーをロックする(L)
- D 2 つのキーを同時に押すと固定キー機能を無効にする(U)

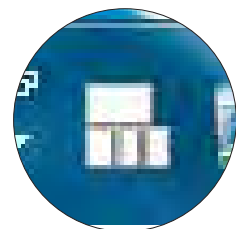
- C** チェック ボックスをチェックすると、修飾キーと呼ばれる Ctrl キー、Alt キー、Shift キーや Windows ロゴ キーを 2 回続けて押すことで、そのキーを常に押されている状態にすることができます。
- D** キーボード上の 2 つのキーを同時に押すことで、「固定キー」機能をその場で解除することができます。

■フィードバック

フィードバック

- Y Ctrl、Alt、Shift、Windows ロゴ キーが押されたときに音を鳴らします(Y)
- E 固定キー機能のアイコンをタスク バーに表示します(I)

- E** 固定キー機能が有効化されていることを通知領域に表示します。



切り替えキー

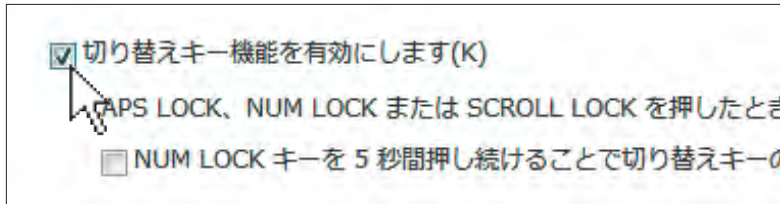
XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

Caps Lock、Num Lock または Scroll Lock を押したときに音を鳴らすことで、誤ったキー操作を防ぎます。


切り替えキー機能のはじめ方



- 1 「入力しやすくします」の [切り替えキー機能を有効にします(K)] のチェック ボックスをチェックします。
- 2 適用(P) をクリックすると切り替えキーが有効になります。

切り替えキーはショートカットでも設定できます。

ショート
カット

- ①  Num Lock キーを 5 秒間押し続けます。
- ② 「切り替えキー機能」ウィンドウが表示され「切り替えキー機能を有効にしますか?」と質問されます。
- ③ [はい] を選択すると、切り替えキー機能が有効になります。

フィルター キー

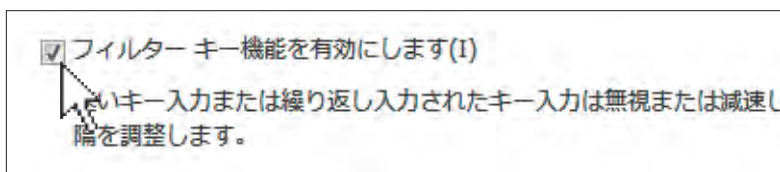
XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

マヒがあるためにキーボードの上を滑るようにしてキーを打つ、不随意運動があるためにキーボードに誤って触れてしまうことがある場合などは「フィルター キー」機能が有効です。

フィルター キー機能のはじめ方



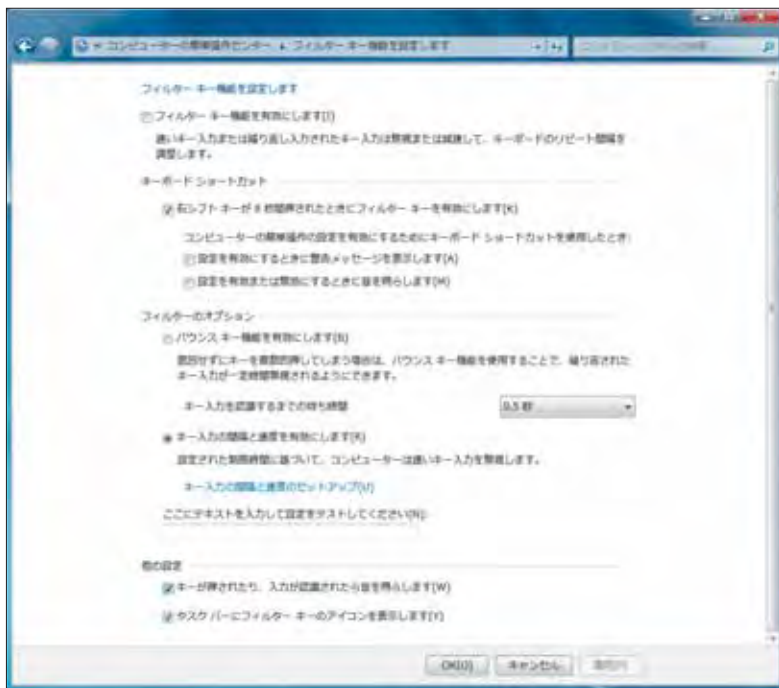
- 1 「入力しやすくする」の [フィルター キー機能を有効にする(I)] のチェック ボックスをチェックします。
- 2 適用(P) をクリックするとフィルター キーが有効になります。

フィルター キー機能の設定

[フィルター キー機能のセットアップ\(L\)](#)



- 1 「入力しやすくします」の
[フィルター キー機能のセットアップ(L)]
をクリックします。



- 2 フィルター キー機能のセットアップ画面が
表示されます。

フィルター キーはショートカットでも設定できます。



Shift キー (右) を 8 秒間押し続けます。

- ② 「フィルター キー機能」ウィンドウが表示され
「フィルター キー機能を有効にしますか?」と質問されます。
- ③ [はい] を選択すると、フィルター キー機能が有効になります。

ショート
カット

■フィルターのオプション

フィルターのオプション

A パウンス キー機能を有効にします(B)

意図せずにキーを複数回押してしまう場合は、パウンス キー機能を使用することで、繰り返されたキー入力が一定時間無視されるようになります。

A 繰り返し入力されたキーを設定した時間、無視します。

B キー入力の間隔と速度のセットアップ(U)

B **[キー入力の間隔と速度のセットアップ(U)]** をクリックすると、速いキー入力を無視して入力が認識されるまでの時間などをセット アップ画面で詳細に設定することができます。

キー入力の間隔および速度のセットアップをします

意図しないキー入力を避けます

C キー入力の繰り返しが行われるまでどれくらいキーを押し続けますか? (K)

1.0 秒

キーを押し続けているときに、キー入力を繰り返しません

キー入力の繰り返しをすべて無視するように設定したり、キー入力の繰り返しが発生するまでの時間間隔を設定したりできます。

D 繰り返されたキー入力をすべて無視します(N)

間隔を長くします(R)

E 最初のキー入力を繰り返すまでの待機時間はどれくらいですか?

1.0 秒

F 次のキー入力を繰り返すまでの待機時間はどれくらいですか? (L)

0.5 秒

C キーを押してから入力と認識するまでの時間を設定します。

D キーを押し続けても無視されて、最初の1文字だけが入力されます。

E キー リピートを開始するまでの時間 (最初のキー入力を繰り返すまでの時間) を設定します。

F リピート間隔 (キー入力を繰り返すまでの時間) を設定します。

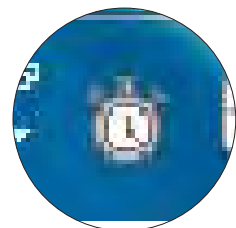
■他の設定

他の設定

キーが押されたり、入力が認識されたら音を鳴らします(W)

G タスク バーにフィルター キーのアイコンを表示します(Y)

G フィルター キー機能が有効化されていることを通知領域に表示します。



サウンドの代わりにテキスト または画像を使用します

音が聞こえにくかったり、まったく聞こえない場合、
音声による情報を視覚的な情報にして表示することができます。

The screenshot shows the Windows 'Sound' control panel window. The title bar reads 'サウンドの代わりにテキストまたは画像を使用します'. The main content area includes the following text and options:

- サウンドの代わりにテキストまたは画像を使用します
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。
- サウンドの代わりに視覚的な合図を使用します
- サウンドを視覚的な通知へ置き換えます (サウンド表示)(R)
- 視覚による警告を選択してください
- なし(N)
- アクティブ キャプション バーを点滅させます(B)
- アクティブ ウィンドウを点滅させます(W)
- デスクトップを点滅させます(K)
- キャプションを有効にします (利用可能な場合)(U)
- 関連項目
- [オーディオ デバイスとサウンド テーマ\(I\)](#)
- [支援技術についての詳細をオンラインで表示します。](#)

At the bottom, there are buttons for 'OK(O)', 'キャンセル', and '適用(P)'. Three callout boxes with red arrows point to specific settings:

- Top callout: Windows では、エラーが発生したり操作ミスをする、システムが警告音を発しますが、この音を確認しづらい場合、希望する視覚的な合図に変更することもできます。
- Middle callout: 対応している場合、音声情報をテキストとして見ることができます。
- Bottom callout: 再生や録音をするデバイスの設定、イベントに適用されるサウンドの設定を行えます。

コンピューターでの作業に集中しやすくします

パソコンの操作に集中し、作業をスムーズに進められるさまざまな機能を設定できます。

見えづらい、読みづらい要素を取り除き、集中力を高めます。

P11 で詳しく説明します

対応している場合、背景のイメージを削除し、デスクトップをシンプルにします。

キーボードの設定により、パソコンへの入力のストレスを減らします。

P31 で詳しく説明します

P33 で詳しく説明します

P33 で詳しく説明します

自分のペースで作業を進めることができるようにします。

対応している場合、画面上のアニメーションを無効にします。

ダイアログボックスが表示している時間を 5 秒、7 秒、15 秒、30 秒、1 分、5 分と変えることができます。

P24 で詳しく説明します

コンピューターでの作業に集中しやすくします
選択された設定は毎回のログオン時に自動的に開始されます。

読み取り

- ナレーターを有効にします(U)
ナレーターを使うと、画面上の文字が音声で読み上げられます。これにはスピーカーが必要です。
- 背景のイメージを削除します (利用可能な場合)(G)

入力しやすくします

- 固定キー機能を有効にする(R)
キーボードのショートカット (CTRL+ALT+DEL など) で一つずつキー
[固定キー機能のセットアップ\(C\)](#)
- 切り替えキー機能を有効にします(K)
CAPS LOCK、NUM LOCK または SCROLL LOCK を押したときに音を鳴らします。
 NUM LOCK キーを 5 秒間押し続けることで切り替えキーの機能を切り替えます。
- フィルター キー機能を有効にします(I)
速いキー入力または繰り返し入力されたキー入力は無効または減速して、隔を調整します。
[フィルター キー機能のセットアップ\(L\)](#)

時間制限と明滅画像を調整します

- 必要のないアニメーションは無効にします (可能な場合)(W)

Windows の通知ダイアログ ボックスの表示時間(X)

5.0 秒

ウィンドウの管理を簡単にします

- ウィンドウが画面の端に移動されたとき自動的に整列されないようにします

関連項目

- マイクを使って音声でコンピューターの制御、プログラムの起動、およびテキストの入力を行います。
[音声認識を使います\(N\)](#)
- [支援技術についての詳細をオンラインで表示します。](#)

OK(O) キャンセル 適用(P)

アクセシビリティ機能以外にもある

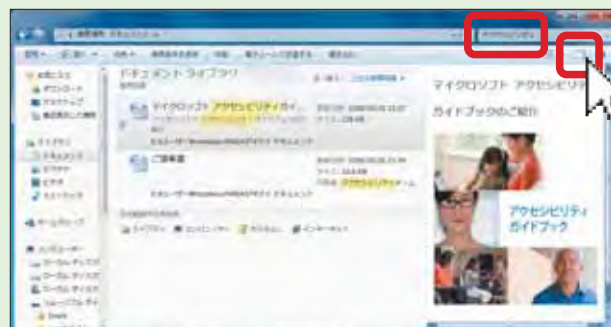
Windows 7 の便利な機能

検索機能でアプリケーションも起動



Windows Vista から搭載された新しい検索機能が、Windows 7 ではさらに進化しています。[スタート] ボタンからスタート メニューを立ち上げるとすぐに「プログラムとファイルの検索」にフォーカスが当たっているのので、例えばそこに「メモ」と入力すると、検索結果として「メモ帳」などが出てきます。この例では一番上の「メモ帳」にフォーカスが当たっているのので、あとは [Enter] キーを押すだけでメモ帳が起動します。

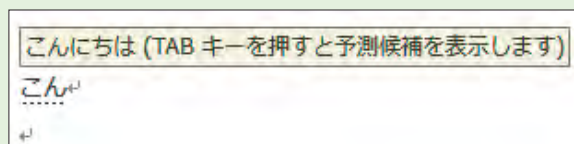
検索したファイルのプレビューを表示



もちろんプログラムだけでなく作成した文書やメールも素早く簡単に検索できるようになりました。検索は検索ボックスに文字を入力することで行うことができ、検索した文書の内容についても「プレビュー ウィンドウ」でファイルを開かずに確認できるようになりました。

予測入力

Windows 7 や 2007 Microsoft Office system に搭載されている日本語入力システム IME では予測入力が行えます。何文字か入力するだけで予測候補が表示され、少ないキー操作で文字を入力することができます。

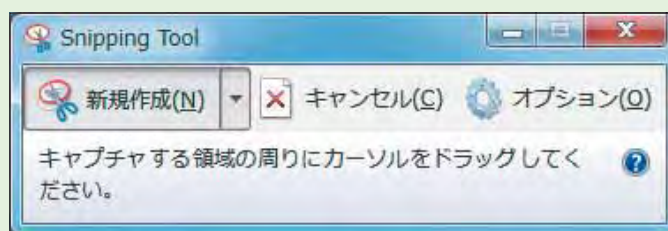


Windows キーの有効活用

Windows 7 では、Windows キーを使ったショートカット キーをはじめ、より少ない操作でデスクトップ操作を行えるようになりました。頻繁に利用するプログラムやファイルは、通知領域やジャンプ リストに固定することができ、固定したアプリケーションは [Windows] キーと数字キーを同時に押すことで起動することもできます。スタート メニューのプログラムには、それぞれ最近使ったファイルが表示されます。複数のウィンドウを操作する場合も、[Windows] キーを押しながら矢印キーを押すことで、アクティブ ウィンドウを左右に固定したり、最大化、最小化することができます。マウス操作では、ウィンドウの上部を持ったまま、左右/上下の端へマウス カーソルをつけることで、同様の操作が行えます。P40、41 のキーボード ショートカット集も参考にしてください。

Snipping Tool で画面キャプチャ

「アクセサリ」にある「Snipping Tool」を使うと、画面ショットのキャプチャが、[PrtSc] キーを使うより手軽に行えます。ぜひお試しください。

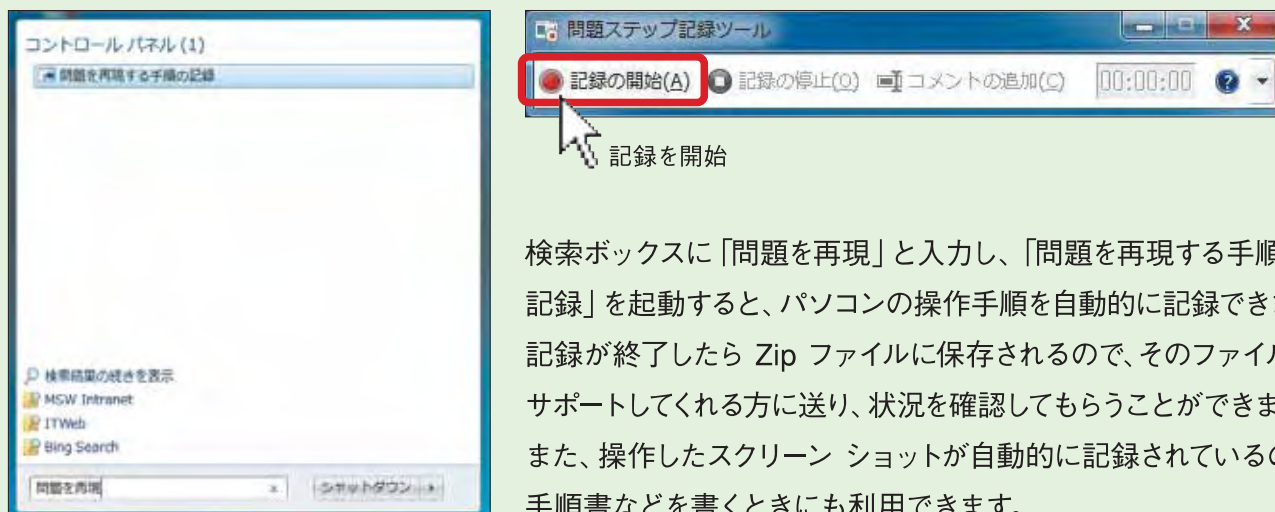


Windows XP モード

Windows Vista など以前の OS に対応したアプリケーションがインストールできないケースは、「プログラム互換アシスタント」などで、問題が解決できる場合があります。また Windows 7 Professional、Enterprise、Ultimate のエディションには、「Windows XP モード」が搭載されており、Windows 7 のデスクトップ上で XP のアプリケーションを利用できます。「Windows XP モード」を利用するには対応するパソコンと、無償でダウンロード提供される「Windows Virtual PC」を有効化する Windows 更新プログラムパッケージ、「Windows XP モード」のインストーラー (Virtual Windows XP) の 2 つのファイルが必要になります。

問題ステップ記録ツール

サポートしている方のパソコンにトラブルがあったが、どのように操作してトラブルになったかわからない、という場合に、Windows 7 から搭載された「問題ステップ記録ツール」が役に立ちます。



検索ボックスに「問題を再現」と入力し、「問題を再現する手順の記録」を起動すると、パソコンの操作手順を自動的に記録できます。記録が終了したら Zip ファイルに保存されるので、そのファイルをサポートしてくれる方に送り、状況を確認してもらうことができます。また、操作したスクリーンショットが自動的に記録されているので、手順書などを書くときにも利用できます。

Windows 7 のキーボード ショートカット集

Windows はキーボードだけの操作でも使うことができます。視覚に障害（しょうがい）があつてマウスの使用が難しい方や、マウスを使うよりも速く操作をしたい方には、ショートカットなどキーボードでの操作が有効です。

Windows 7 では、キーボード ショートカットがさらに充実しました。

※Shift + Tab は Shift キーを押しながら Tab キーを押すという意味です。

Windows 7 の基本操作のキーボード ショートカット

目的

キー操作

スタート メニューの表示と非表示を切り替える	Windows ロゴ キー
ダイアログで次のオプションに移動する	Tab
ダイアログで前のオプションに移動する	Shift + Tab
ダイアログ内の次のタブに移動する	Ctrl + Tab
ダイアログ ボックスのオプション またはボタンのコマンドを実行する	Enter
現在の操作を取り消す	Esc
アクティブなオプションがチェック ボックスの場合、 チェック ボックスのオン/オフを切り替える	Space キー
戻る / 1 階層上のフォルダを開く	Back Space
すべて選択する	Ctrl + A
コピーする	Ctrl + C
貼り付け	Ctrl + V
切り取り	Ctrl + X
元に戻す	Ctrl + Z
操作をやり直す	Ctrl + Y
対応するメニューを実行する	メニュー内の下線付きの文字キー
使用中の項目を閉じる、または作業中のプログラムを終了する	Alt + F4
作業中のウィンドウのショートカット メニューを開く	Alt + Space キー
開いている項目を切り替える	Alt + Tab
選択した項目のショートカット メニューを表示する	アプリケーション キー（メニュー キー）
ヘルプを表示する	F1
次のタブに移動する	Ctrl + Tab
前のタブに移動する	Ctrl + Shift + Tab
デスクトップを表示する	Windows ロゴ キー + D
[コンピューター] を表示する	Windows ロゴ キー + E
[システム] を表示する	Windows ロゴ キー + Break
ファイルまたはフォルダを検索する	Windows ロゴ キー + F
[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開く	Windows ロゴ キー + R
コンピューターをロックする、またはユーザーを切り替える	Windows ロゴ キー + L
通知領域上の各プログラムを巡回する	Windows ロゴ キー + T

数字に対応する位置にある、通知領域に固定されたプログラムを起動する (プログラムが既に起動している場合は、そのプログラムに切り替わります)	Windows ロゴ キー + 数字キー
通知領域上の各プログラムを巡回する (Aero フリップ 3-D を使用)	Windows ロゴ キー + Tab
通知領域にメッセージが表示されているプログラムに切り替える	Ctrl + Windows ロゴ キー + B
画面の左側にウィンドウを固定する	Windows ロゴ キー + 左方向キー
画面の右側にウィンドウを固定する	Windows ロゴ キー + 右方向キー
ウィンドウを最大化する	Windows ロゴ キー + 上方向キー
ウィンドウを最小化する	Windows ロゴ キー + 下方向キー
画面の上下にウィンドウを拡大する	Windows ロゴ キー + Shift + 上方向キー
デスクトップをプレビューする	Windows ロゴ キー + Space
作業中のウィンドウ以外をすべて最小化する	Windows ロゴ キー + Home
モニター間でウィンドウを移動する	Windows ロゴ キー + Shift + 左方向キー または右方向キー
プレゼンテーション表示モードを選択する	Windows ロゴ キー + P
各ガジェットを巡回する	Windows ロゴ キー + G
Windows モビリティ センターを開く	Windows ロゴ キー + X

コンピューターの簡単操作センターの キーボード ショートカット

[コンピューターの簡単操作センター] を開く	Windows ロゴ キー + U
ハイコントラストのオンとオフを切り替える	左 Alt + 左 Shift + Print Screen
マウス キー機能のオンとオフを切り替える	左 Alt + 左 Shift + Num Lock
固定キー機能のオンとオフを切り替える	Shift キーを 5 回押す
切り替えキー機能のオンとオフを切り替える	Num Lock キーを 5 秒間押す
フィルター キー機能のオンとオフを切り替える	右 Shift キーを 8 秒間押す
拡大または縮小する (拡大鏡を起動する)	Windows ロゴ キー + プラス記号 (+) またはマイナス記号 (-)
拡大鏡でマウス ポインターを表示する	Ctrl + Alt + Space
拡大鏡で [全画面表示] に切り替える	Ctrl + Alt + F
拡大鏡で [レンズ] に切り替える	Ctrl + Alt + L
拡大鏡で [固定] に切り替える	Ctrl + Alt + D
拡大鏡で色を反転する	Ctrl + Alt + I
拡大鏡で方向キーの方向に表示を移動する	Ctrl + Alt + 方向キー
拡大鏡でレンズのサイズを変更する	Ctrl + Alt + R
拡大鏡を終了する	Windows ロゴ キー + Esc

マイクロソフトの アクセシビリティ Web サイト

このガイドブックでご紹介している Windows 7 のアクセシビリティ機能をはじめ、パソコンを使う際の障害 (しょうがい) 別の詳しいガイド、ケース スタディなどをご紹介します。

<http://www.microsoft.com/japan/enable/>

マイクロソフトの企業市民活動

マイクロソフトでは、「Realizing Potential = 世界中のすべての人々とビジネスの持つ可能性を最大限に引き出すための支援をすること」という企業ミッションを掲げています。

ソフトウェアの力でこのミッションを実現するために、マイクロソフトではプラットフォームとテクノロジーを提供するほか、企業市民活動としてさまざまな取り組みを行っています。

各プログラムの内容や取り組み事例は、ぜひ企業市民活動のサイトをご覧ください。

<http://www.microsoft.com/japan/citizenship/>



* Microsoft、Microsoft ロゴ、Windows、Windows ロゴ、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。 * その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。 * 記載の内容は、2009 年 10 月現在のものです。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネットホームページ	http://www.microsoft.com/japan/
■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター	フリーダイヤル: 0120-41-6755 (9:30~12:00、13:00~19:00 ※土日祝日、弊社指定休業日を除きます)

※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。